

河川基金助成事業

「多様性のある湿地環境の再生と、子どもたちの
自然体験活動の推進」

助成番号：2023-6113-007

麻機ウェットランドクラブ
代表 石上恭平

2023 年度

様式 8

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6113-007	多様性のある湿地環境の再生と子どもたちの自然体験活動の推進	麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平
活動の目的		
<p>麻機遊水地において、多様性のある豊かな湿地環境を後世に引き継ぐため、ミズアオイをはじめとした攪乱依存型絶滅危惧植物の再生に取り組む。</p> <p>子どもたちに麻機遊水地の自然を楽しんでもらうための観察会、人材育成のための学習会、広く市民にも呼びかけや啓発活動をしながら、この自然を地域の宝として後世に引き継いでいく。</p>		
事業テーマ	河川や流域への理解を深める活動	
助成事業の要旨	<p>【実施内容】</p> <p>麻機遊水地の自然は、遊水地工事で湿地環境がよみがえったものであり、多様な動植物が見られるようになりました。しかし、人の手が加わらないことで、植生遷移により単調な植物相となり、ミズアオイ等の攪乱依存種はその姿を消しつつあった。そのため、ミズアオイ等の攪乱依存種などを再生するための活動、及び維持管理方法の検討を行う。</p> <p>また、次世代を担う子供たちの環境教育や、市民への啓発、目的とした、観察会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 攪乱依存種の再生および保全 <ul style="list-style-type: none"> ミズアオイの再生、オニバスの保全・貴重種保全 ○ 市民への啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> 自然観察会 2 回、おさんぼ観察会 5 回、静岡市の生涯学習センターと共催で観察会を 3 回行いました。学習会は東部生涯学習センターと共催で「カヤネズミ学習会」「ナガエツルノゲイトウを学ぶ会」を開催しました。「遊水地フェスタ」、「ハス七夕まつり」にも参加しました。 <p>【成 果】</p> <p>ミズアオイの再生では、大雨による出水などで思うような活動が出来なかったが、数十株の発芽は見られ種子の更新が出来たと思われます。<u>土壌の劣化を土木事務所に相談したところ、隣接地のカサスゲ群落を重機により攪乱していただき、今後植生調査を行う予定にしています。</u></p> <p>オニバスの保全はアメリカザリガニやミシシippiaカミミガメの食害が原因と思われ、アメリカザリガニの捕獲を試み、種子の更新のために近隣小学校の池に移植し保全することにした。</p> <p>今年度、開催した観察会では、<u>合計 100 名を超える参加者により開催することができ麻機遊水地の自然の魅力やウェットランドクラブの取り組みを広めることができた。</u></p> <p>お散歩観察会をシリーズ化することで、<u>自然を楽しむことや、麻機遊水地の自然環境に興味を持ってもらい、子どもたちへの環境教育ができた</u>と考える。</p> <p><u>最近問題になっている「ナガエツルノゲイトウ」の駆除にも取り組み学習会も行いました。</u></p> <p>【今後の展望】</p> <p>外来種問題にも積極的に取り組み、行政や他団体との連携をしていきたい。</p> <p>多くの市民の方に麻機遊水地の魅力や自然再生に対する理解をしてもらうよう、活動を継続させていきたい。おさんぼ観察会を充実し多くの子供たちに観察会への参加を呼び込みたい。あさはた緑地の管理者と連携し観察会などの情報発信や貴重種保全活動に取り組んでいきます。</p>	

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

様式 9

2.川づくり団体部門

[自己評価シート]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6113-007	多様性のある湿地環境の再生と子どもたちの自然体験活動の推進	麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平

助成事業実施成果の自己評価	<p>〔計画の妥当性〕 保全活動については予定した活動日に大雨による出水などで十分な活動が出来ていなかったと思います。攪乱依存種であるミズアオイの再生手法は、活動場所にて水田環境を作ることで、毎年再生させることができていたが、土壌の劣化で大きな群落を再生することが出来なかった。一応、種子の更新はできたと考えます。 『あさはた緑地』でミズアオイや湿性植物も多く見られるようになり、今後も活動フィールドとしていきたいと考えます。 啓蒙活動については当初計画した観察会は内容共に妥当だと思えます。</p> <p>〔当初目標の達成度〕 ミズアオイの再生のために攪乱作業や草刈りを行ったが土壌の劣化等もあり大きな群落を再生することはできませんでしたが、種子の更新が出来たと思います。 オニバスの保全活動は一部では可能でしたが、一時的に近隣小学校などプランターを設置避難しています。 市民への啓発活動として自然観察会 2回、おさんぽ観察会 5回計画して市民の方の参加があり麻機遊水地の魅力を伝えることが出来たと思えます。</p> <p>〔助成事業の効果〕 希少植物の再生による成果は、今後、遊水地内に多様な湿地環境を拡大していくための手法として新たな活動にも発展させていくことが期待できると思えます。 観察会を通して地域の子どもたちにも、遊水地の魅力や新しい発見が出来たとお思います。また、折に触れて麻機遊水地の役割や機能をお話することで、理解していただいたと思えます。 今回、緊急的に「ナガエツルノゲイトウを学ぶ会」を開催したことで大きな反響あり、今後どのように取り組んでいくのが課題です。</p> <p>〔河川管理者等との連携状況〕 麻機ウェットランドクラブは、静岡土木事務所と静岡市が事務局となり設立した「麻機遊水地保全活用推進協議会」の下部組織である「自然再生部会」に所属し活動しており、会議や観察会など、協議会事務局も参加して情報交換を行っている。 行政との対面による会議が開かれるようになりました。年度末には土木事務所から攪乱の協力をいただきました。</p> <p>〔キーワード〕 1 攪乱依存種の再生は、自然相手で私たちが思い描くようにならない 2 外来種（植物・生物）の対応策は専門家のアドバイスが欠かせない 3 観察会の告知の工夫が大切です。 4 スタッフの高齢化に伴い、若年層の新規参加が望まれる</p>
---------------	---

1. 事業概要

1-1. 活動の目的

麻機遊水地において、多様性のある豊かな湿地環境を保全するために、ミズアオイをはじめとした攪乱依存型絶滅危惧植物の再生に取り組む。

また、子どもたちが麻機遊水地の自然に親んでもらうための観察会、市民への啓発のための観察会を開催し、広く市民にも呼びかけ、この自然を地域の宝として後世に引き継いでいくことを目的とする。

1-2. 活動の経緯

麻機遊水地は、治水掘削工事の過程で湿地環境が再生され、多様な動植物が見られるようになった。湿性植物はタコノアシなど 23 種の絶滅危惧種が確認され、水田表土を埋め戻した場所にはミズアオイの大群落が出現したことから、平成 13 年に環境省の「日本の重要湿地 500」にも選ばれている。

この実態を踏まえ、平成 16 年 1 月に各種民間団体や専門家、遊水地周辺の住民、静岡県や静岡市など多様な主体によって構成する「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」を設立、平成 19 年 3 月に「自然再生全体構想」が、平成 20 年 12 月には「自然再生実施計画」が策定される。

その後、静岡市の『麻機遊水地地区グランドデザイン』に基づき、平成 28 年に「麻機遊水地保全活用推進協議会」に移行しました。

麻機ウェットランドクラブは、この協議会の下部組織の自然再生部会で活動しており、この自然再生事業で示された実施計画に従って、自然環境を保全・再生および維持管理を共に実施していくものである。

1-3. 活動内容

(1) 活動概要

あさはた緑地（公園）がある麻機遊水地第 1 工区と第 3 工区を中心に表 1.1 に記載した活動に取り組みました。3 年続いた新型コロナウイルスの影響も収まり、通常の活動やイベントに戻りつつあるが、3 年間のブランクもあり活動に影響が残っています。



写真 1.1 活動場所の航空写真

表 1.1 活動概要

攪乱依存種等の湿生植物の保全活動	市民への啓発活動
① ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動 ② オニバスの保全管理活動 ③ カヤネズミの生育環境の保全	④ おさんぼ観察会（親子が対象） ⑤ 自然観察会 ⑥ 他団体（市等）のイベント共催

(2) 活動状況

1年間の活動状況

表 1.2 活動状況

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
1	R5. 4. 9（日） あさはた緑地	観察会	あさはたおさんぼ観察会 お散歩しながら野の花でお弁当をつくる	23名 (19名)
2	R5. 4. 11（火） スマイルあさはた	会議	活動の報告 令和5年度の活動計画について	8名
3	R5. 4. 15（土） あさはた緑地	作業	あさはた緑地の湿地部でヒメガマの刈取り 水路の掘削をサポーターとして参加	4名
4	R5. 5. 9（火） スマイルあさはた	会議	活動・イベントの打ち合わせ 保全活動について話し合い	7名
5	R5. 5. 20（土） 第3工区	作業	ミズアオイ田んぼ周辺草刈り	3名
6	R5. 5. 28（日） あさはた緑地	作業	オニバス保全のためのいけを掘削	3名
7	R5. 6. 12（日） 第3工区	作業	第1回 ナガエツルノゲイトウ駆除作戦 協議会とウェットランドクラブ主体	9名
8	R5. 6. 13（火） あさはた緑地 センターハウス	会議	活動・イベントの打ち合わせ	7名
9	R5. 6. 27（火） あさはた緑地	作業	オニバス保全のヒシ取りと草刈り	2名
10	R5. 7. 9（日） あさはた緑地	イベント	あさはた緑地主催 ハス七夕まつりに参加 センターハウスを使ってイベント	7名
11	R5. 7. 11（火） スマイルあさはた	会議	活動報告、イベントについて	6名
12	R5. 7. 16（日） あさはた緑地	イベント	あさはたおさんぼ観察会 ハスを見て遊んで楽しもう	18名 (12名)
13	R5. 7. 23（日） あさはた緑地	作業	湿地部の水路掘削と草刈り オニバス保全の草取り	3名

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
14	R5. 8. 8 (火) あさはた緑地	会議	活動報告、イベント打ち合わせ	4名
15	R5. 8. 11~20 (5日) あさはた緑地	観察会	水草保全のため外来種のアメリカザリガニの捕獲を行う	19名 (16名)
16	R5. 9. 20 (水) 3工区	作業	第2回 特定外来生物ナガエツルノゲイトウを駆除	17名
17	R5. 9. 23 (土) あさはた緑地	観察会	秋の草花観察会 (ミズアオイ)	18名 (11名)
18	R5. 10. 10 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告、イベント打ち合わせ	4名
19	R5. 10. 15 (日) あさはた緑地 センターハウス	学習会	カヤネズミのくらしを学ぼう (第1回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	26名 (20名)
20	R5. 10. 21 (土) 第3工区	イベント	協議会主催 (実行委員会) 遊水地フェスタに出展	2名
21	R5. 10. 22 (日) あさはた緑地 遊水地内カヤ原	学習会	カヤネズミのくらしを学ぼう (第2回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	24名 (20名)
22	R5. 11. 5 (日) あさはた緑地	観察会	秋の自然観察会 カヤネズミってどんなネズミ	17名 (11名)
23	R5. 11. 14 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告 活動予定の打ち合わせ、その他	6名
24	R5. 11. 27 (月) 第3工区	作業	おさんぽ観察会 リースの準備作業	5名
25	R5. 12. 3 (日) あさはた緑地	作業	あさはた緑地内 貴重種保全活動	5名
26	R5. 12. 3 (日) 第3工区	観察会	あさはたおさんぽ観察会 ふゆのみちでリースづくり	20名 (14名)
27	R5. 12. 12 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告 活動予定の打ち合わせ、その他	6名
28	R5. 12. 17 (土) あさはた緑地	作業	あさはた緑地内 貴重種保全活動	2名
29	R6. 1. 10 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告とイベント・学習会打ち合わせ	6名
30	R6. 1. 12 (木) あさはた緑地	作業	おさんぽ観察会及びカヤネズミのくらしを学ぼう 下見と準備 (オギの穂集め)	5名
31	R6. 1. 14 (日) あさはた緑地	学習会	カヤネズミのくらしを学ぼう (第3回) 静岡市東部生涯学習センター共催事業	22名 (17名)

	開催日・開催場所	形式	内容	参加人数
32	R6. 1. 20 (土) あさはた緑地	観察会	あさはたおさんぽ観察会 ふゆのみちでロゼットさがし	9名 (5名)
33	R6. 1. 28 (日) 第3工区	作業	協議会主催 火入れ実験 (野焼き)	2名 (多数)
34	R6. 1. 31~2. 1 第3工区	作業	3工区ミズアオイ池隣接地 埋土種子保存 (カサスゲ群落) 天地返し	5名 業者3名
35	R6. 2. 13 (火) スマイルあさはた	会議	活動報告とイベント・学習会打ち合わせ	4名
36	R6. 2. 24 (土) ふじのくに地球環境史 ミュージアム	作業	ミュージアムの中庭の池にオニバス・ハス などの湿生植物を展示する土の入れ替え	11名
37	R6. 2. 17 (日) あさはた緑地 センターハウス	学習会	カヤネズミのくらしを守ろう 東部生涯学習センター 静岡市環境局環境創造課 3者共催事業	30名 (18)
38	R6. 3. 2 (土) あさはた緑地 センターハウス 3工区	学習会	特定外来生物ナガエツルノゲイトウを学ぶ会 (緊急学習会) 講師エコロジー研究所代表丸井英幹さん	52名 (42名)
39	R6. 3. 10 (日) あさはた緑地	観察会	あさはたおさんぽ観察会 あさはた緑地でおいしい春みつけ!	15名 (8名)
40	R6. 3. 12 (火) スマイルあさはた	会議	作業活動の報告と来年度の取り組み方	6名
41	R5. 3. 16 (土) 3工区	作業	貴重種保全活動 人為的攪乱草刈り	4名
42	R5. 3. 16 (土) 3工区	作業	天地返し個所及び火入れ実験個所 植生調査	3名

※参加人数の () 内数値は一般参加者の人数

2. ミズアオイ等の攪乱依存種の保全管理活動

2.1 活動の目的

ミズアオイなどの攪乱依存種を保全する為、耕起（人為的攪乱）し水田環境と同じ状態にして、埋土種子から発芽したミズアオイが生育したのちに、種子の更新をして保全活動を行う。

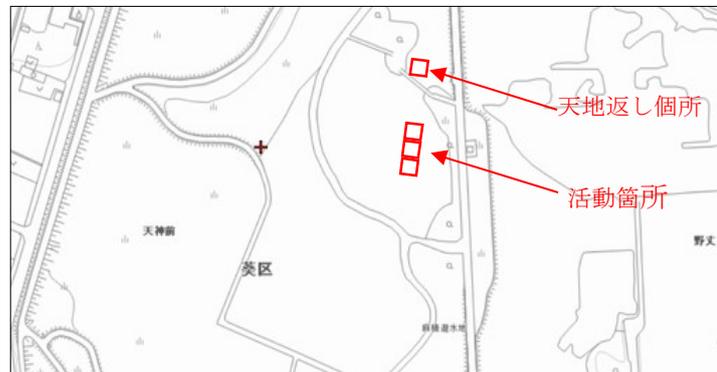


図 2.1 事業実施箇所

2.2 作業方法

水田と同じように、人力にて耕起（攪乱）し湿地環境を作る。ミズアオイがある程度生育した後に貴重な植物も残しながら、チクゴスズメノヒエなどの外来種やミ生育を阻害する植物（ヨシやカンガレイ・カサスゲ）を除去する作業も継続して行う。今年度はコロナが明けて十分な活動を期待していましたが、大雨で活動日のたびに水位が高くなり思うような成果が得られなかった

土壤の劣化について事務局の土木事務所河川改良課に相談したところ、重機を使って隣接地のカヤスゲの群落を天地返し（攪乱）をすることにしました。今後植生調査を行い遷移を見守ることとした。



写真 2.2.1 数株のミズアオイが確認された



写真 2.2.2 立派な花ができました



写真 2.2.3 重機による攪乱



写真 2.24 植生調査中

3. オニバスの保全管理活動

3.1 活動の目的

絶滅危惧Ⅱ類にランクされているオニバスが麻機遊水地第1工区の池に2010年に復活しました。復活したオニバスが今後、植生遷移や土壌の劣化などにより絶滅しないように、遊水地内の他の池にも植生エリアを確保しつつ保全・管理することを目的とする。

現状では、遊水地3工区、1工区でも自生が見られなくなり、ミシシッピーアカミミガメやアメリカザリガニの食害があると考えます。当面の対策として近隣小学校の池やふじのくに地球環境史ミュージアムの中池などに避難し、保全活動をしています。



図 3.1 オニバス保全活動実施箇所

3.2 作業方法

今年も数株発芽するが、生育することが出来なかったりして再生することができなかったので遊水地内での生育状況を観察することが主な作業となった。対策として、近隣小学校の池やミュージアム中池、あさはた緑地（公園内）の湿地部に池を掘削して保全活動を行いました。併せて生育を阻害しているアメリカザリガニの特別採捕許可を取りザリガニの駆除も行いました。

オニバス再生の池掘削作業



写真 3.2.1 オニバス保全の池を掘削



写真 3.2.2 生育したオニバス

アメリカザリガニ捕獲の作業



写真 3. 2. 3 アメリカザリガニを捕獲する道具



写真 3. 2. 4 数時間で沢山捕獲できた

4. カヤネズミの生育環境の保全活動

4.1 活動の目的

カヤネズミが生息できる環境を保全することを目的としました。

カヤネズミはヨシ、オギやススキなどの群落する場所に巣を作り生息しています。乾燥に強いセイタカアワダチソウやアレチハナガサなどの侵入があり、植生が偏移する傾向が見られます。又オギなどがそのまま放置すると劣化し葉の数も少なくなり営巣が困難になることが考えられます。そこで、カヤ原を刈り払い新しいカヤを生育していく必要があります。

4.2 活動方法

定期的にかや原を刈取っていた場所は『あさはた緑地』公園として供用が開始され、指定管理者が維持管理する範囲となり、管理者に委ねることにしました。刈り取る時期や範囲、順番などを打ち合わせしています。

4.3 考察

公園になり人や犬の散歩、自転車、スケボー、管理車両などの通行が頻繁となり、カヤネズミの営巣地としてやや問題があると考えます。

他の場所で必要があれば、カヤの刈取り作業を行い新しいカヤが生育しカヤネズミが営巣しやすい環境を作っていきたいと思います。麻機遊水地河川管理者である静岡土木事務所との話し合いで、草刈りの時期などをお願いしております。

5. 静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示紹介

5.1 活動の目的

啓発活動の一環として、麻機遊水地の植物をミュージアム（博物館）の中庭にある池にプランターに移植し、麻機の湿生植物の実物を展示することにより広く市民に麻機遊水地の魅力を視覚的に伝える。この活動は今年で8年間継続しています。

5.2 作業方法

ミュージアムの池にあるプランターに土を補い、プランターにある植物を植え替える作業行います。

補充する土は麻機遊水地の掘削工事をしている田んぼの表土を採取し、密封し暗所で保管してある土を使用しました。展示用植物は、ミズアオイ・タコノアシ・オモダカ・コツブヌマハリイ・カンガレイ・サンカクイ・ヒメガマ・コガマ、・ガマ・オニバス・ハス（レンコン）などの湿生植物です。

中池で土の攪乱・補充の作業



写真 5.2.1 池からプランターを取り出し



写真 5.2.2 土の攪乱と追肥



写真 5.2.3 ハスの根（蓮根）丁寧に取り出し



写真 5.2.4 きれいに片付けお疲れ様

5.3 考察

ふじのくに地球環境史ミュージアムで麻機遊水地の植物を展示し、来場者の方にサポーターから紹介していただいたことで、市民の皆様が麻機遊水地へ足を運んでいただいたと考えています。また、麻機遊水地の豊かな自然を知っていただき、興味を持ってくださるとありがたいと思います。今回もサポーター数名にも声をかけ作業に加わっていただきました。

6. 特定外来生物ナガエツルノゲイトウ

6.1 活動の目的

以前から麻機遊水地 3 工区に隣接する浅畑川にナガエツルノゲイトウが繁茂し、静岡土木事務所より堤防除草に際し、ナガエツルノゲイトウの駆除指導をお願いされていました。数年前よりナガエツルノゲイトウが 3 工区に侵入し繁茂し始めたので当面、見える範囲で除草して拡散を減少することにしました。下図に示したように数か所確認されているが小さな株が漂着しているところも数か所見られます。

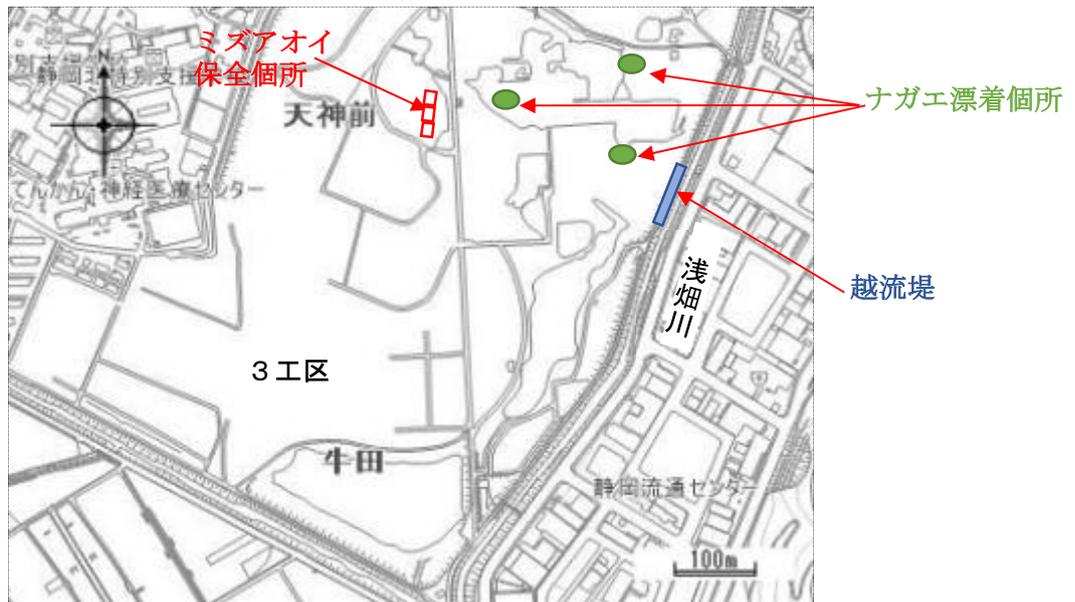


図 6.1 ナガエツルノゲイトウ漂着個所図

6.1 作業方法

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物であり勝手に作業をすることが出来ないため、麻機遊水地保全活用推進協議会で活動している団体や静岡市環境創造課、緑地政策課、静岡土木事務所など行政も巻き込んで作業を行いました。参加者は胴長靴を着用し、刈取ったナガエをプラ舟入れロープで引っ張り、拡散防止のブルーシートに陸揚げしました。少し水切りをしてゴミ袋に入れ焼却場に運搬処分しました。

1 回目の作業の様子



写真 6.1.1 事務局が用意した資料で学習



写真 6.1.2 小雨の中プラ舟を引っ張り作業



写真 6.1.3 プラ舟から袋詰め



写真 6.1.4 軽トラで焼却場へ運搬

2回目の作業



写真 6.1.5 接岸した群落の様子



写真 6.1.6 シートの上で袋詰め



写真 6.1.7 散乱しないよう丁寧に袋詰め



写真 6.1.8 軽トラで焼却場へ

胴長を着用しての作業だったが、ナガエツルノゲイトウの茎などの断片まで、きれいに除去することは困難だと感じました。

7. 学習会

7.1 活動の目的

私たちのスキルアップを図るため、他の活動の見学や交流を目的としました。

7.2. カヤネズミ学習会

令和6年2月17日（土）にあさはた緑地センターハウス会議室を使用して行いました。

カヤネズミのくらしを守ろうと題して、静岡市環境局・麻機ウェットランドクラブ・静岡市東部生涯学習センター3者の共催事業として麻機遊水地に生息しているカヤネズミたちを守るにはどうすればいいのか、カヤネズミの生態や生息地の保全について学び考えてみましょう。

講師の畠先生は「全国カヤネズミ・ネットワーク」の代表を務められている先生でカヤネズミの生態やオギ・カヤ原の生息環境を守るため、草刈りの実例を挙げながらお話をしていただきました。



写真 7.2.1 畠 佐代子先生の講演



写真 7.2.2 現地を視察して意見交換

7.3. ナガエツルノゲイトウを学ぶ会

令和3年3月2日（土）9:30~16:00まで 丸井 英幹氏（エコロジー研究所代表/大阪産業大学、武庫川女子大学 非常勤講師）午前中はあさはた緑地センターハウス会議室で座学を行い、午後から現地で実践的な駆除作業を行いました。保全活動をする中で、浅畑川から出水時に越流堤を超え麻機遊水地3工区に流れ込み繁殖が始まったことから、最強最悪の外来植物のナガエツルノゲイトウの遊水地内で拡散・繁殖を防ぎたいと考え今回の学習会を緊急に企画したものです。

学習会前日、講師の丸井先生と現状視察



写真 7.3.1 ツルノゲイトウが繁茂する浅畑川
学習会の様子



写真 7.3.3 会場のあさはた緑地センターハウス

写真 7.3.2 講師と事前視察



写真 7.3.4 遊水地の現況説明



写真 7.3.5 講師の方による事例



写真 7.3.6 質問も飛び出し活発な意見交換



写真 7.3.7 流下防止のネット張り



写真 7.3.8 拡散防止のシート張り



写真 7.3.9 ガラ袋へナガエを集草



写真 7.3.10 報道機関も来ていただきました



写真 7.3.11 水圧による根こそぎ除去



写真 7.3.12 遮水シートを張り防草

今後麻機遊水でどんな活動に生かしていくか勉強になりました。浅畑川・巴川や大谷川放水路に流下してしまったものは行政にお任せすることとし、遊水地内に侵入したナガエツルノゲイトウの駆除は専門家を含めた行政、民間の協力で拡散、増殖の対策を計ることが必要であります。今回の学習会は行政の方も参加していただき、認識を新たにされたと感じています。

7.4. 火入れ実験

麻機遊水地活用推進協議会が主催する事業で、効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する目的で行われました。

指導してくださる西廣淳先生から着火用ガスバーナーと消火ポンプの説明を受け、いよいよ着火します。静岡市消防局も立ち会っていただき心強く感じました。



写真 7.4.1 注意事項などの説明写真



7.4.2 着火後瞬く間に大きな炎



写真 7.4.3 燃え終わった後の消火



写真 7.4.3 プロの消火活動

事故や延焼もなく無事に終わることが出来ました。

8. 市民への啓発活動・環境学習

8.1 活動の目的

啓蒙活動・環境学習は、麻機遊水地の貴重な自然や地域に伝わる伝説、子どもたちに自然とのふれあいの楽しさを知ってもらうことを目的として開催する。併せて遊水地での活動を広く市民の方々に理解してもらうことも目的とします。他の団体と共催活動も増やし、低年齢の子どもたちを対象に「あさはたおさんぽ観察会」をシリーズ化して回数を増やしました。

8.2 あさはたおさんぽ観察会

＼お散歩しながら野の花でお弁当を作ろう／

開催日：令和5年4月9日（日） 10時～11時30分

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

あさはた緑地管理事務所（グリーンパークあさはた）と共催事業

内容：あさはた緑地の春を、草花を通して楽しむ野の花を摘むことによって植物を五感で味わう

竹のお弁当箱を持ってお散歩しながら公園内の草花を摘んで詰め、野の花弁当を完成させる。



写真 8.2.1 黄色の旗に集合



写真 8.2.2 お花のお弁当の説明



写真 8.2.3 体験農園お花摘み



写真 8.2.4 こんなお弁当が出来ました



写真 8.2.5 お花のお弁当が出来ました



写真 8.2.6 お土産の缶バッチをもらう

8.3 ハス・七夕まつり

開催日 : 令和4年7月9日(日) - 10日 9時~16時

開催場所: あさはた緑地

主催: あさはた緑地管理事務所(グリーンパークあさはた)

協力: ウェットランドクラブ その他団体

内容: 今年の夏は、麻機で自然を愉しも 自然ワークショップ

ハススタンプでしおりを作ろう・ハススタンプで私だけの巾着を作ろう・なりきり織り姫彦星コーナー・ハスの葉で染ワークショップなど、遊水地の自然を生かしたいろいろなコンテンツを用意しました。



写真 8.3.1 イベント会場入り口



写真 8.3.2 催し物の案内



写真 8.3.3 スタンプでミニ巾着



写真 8.3.4 織り姫・ひこぼしなりきり



写真 8.3.5 オニバス&ハスクラフト



写真 8.3.6 可愛くできました



写真 8.3.7 ハスの葉染め 絞りで模様を



写真 8.3.8 乾いたら出来上がり

8.4 あさはたおさんぽ観察会 \ハスを見て遊んで楽しもう／

開催日 : 令和4年7月16日(日) 8時30分~10時

開催場所: あさはた緑地 ハス池

主催: あさはた緑地管理事務所(グリーンパークあさはた)と共催事業

内容: ハスを五感で味わい、ハスの観察やハスを使った遊びで楽しむ

高い気温が予想されるので、熱中症などの十分な対策を考慮しました。また一般道を横断するので十分な注意が必要です



写真 8.4.1 日差しが暑いので日陰でお話



写真 8.4.2 いろいろな虫や植物を発見



写真 8.4.3 ハスのはっぱを日傘に



写真 8.4.4 ハスの花はどんな香かな



写真 8.4.5 ハスを使ってシャボン玉遊び



写真 8.4.6 テントの日陰で冷たい飲み物

7.5 秋の草花観察会 ～秋の遊水地を楽しもう！～

日時:9月23日(土) 10:00～11:30

場所:あさはた緑地 ふれあい水辺・湿地周辺・体験農園

体験農園やふれあいの水辺には、珍しい湿生植物がたくさん生えています。そこには虫や鳥たちも集まってきて“いのちの賑わい”が感じられる楽しい場所になっています。そんな中に咲くミズアオイや、面白い形の植物を観察しながら初秋のひと時をのんびり過ごしてみませんか。

曇りがちの天気ではありましたが、観察日和となりました。ミズアオイをはじめ多くの植物や生き物の観察できたと思います。



写真 8.5.1 スタッフの打合せ



写真 8.5.2 ミズアオイ群落で観察



写真 8.5.3 ミズアオイの不思議を観察



写真 8.5.4 田の畦で草花の観察



写真 8.5.5 オニバスの花をルーペで見してみる 写真 8.5.6 オリジナル植物のしおりをお土産

8.6 秋の自然観察会 —カヤネズミってどんなネズミ?—

開催日：令和4年11月5日（日） 10：00～11：30

場 所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内 容：麻機遊水地にくらす日本一小さなカヤネズミのお話を聞き、銀色の穂が輝くオギ原でカヤネズミの巣を探しながら 湿地の植物や生きものを観察しましょう

当日はとても天気良く、観察日和でした。大きな四阿で挨拶とスタッフ紹介をして「カヤネズミのお母さん」の紙芝居を読み聞かせ、観察の時の注意などを聞いて、フィールドに出発。秋の草花小さな花を摘んだり、虫を捕まえたり、カヤネズミの巣を発見、四阿へ戻ってオギの葉を使ってカヤネズミの巣作りを体験、楽しい観察会でしたと意見をいただきました。



写真 8.6.1 カヤネズミの話聞く



写真 8.6.2 ルーペで観察



写真 8.6.3 何か見つけたのかな



写真 8.6.4 カヤネズミの巣を見つけました



写真 8.6.5 タコノアシも赤く紅葉しています



写真 8.6.6 オギの葉を使って巣づくり

8.7 あさはたおさんぽ観察会 \ふゆのみちでリースづくり/

開催日：令和5年12月3日（日） 10：00～12：00

場 所：麻機遊水地第3工区

内 容：麻機遊水地麻機遊水地をおさんぽしながら世界に1つだけのリースを作ろう

遊水地に自生するアケビの蔓で作っておいたリースの土台に、カヤの穂、カラスウリ、木の実、草の実を編み込んで、自分だけのリースを作ります

当日は天気も良く朝方は穏やかでしたが、気温も上がらず風が吹き始めましたが、参加者の皆さんは、元気におさんぽしながらリースを作ることが出来たと思います。



写真 8.7.1 観察の注意点を説明



写真 8.7.2 高枝ばさみも活躍



写真 8.7.3 リースに編み込んでいきます



写真 8.7.4 さわやかな秋の草もみじ



写真 8.7.5 自分のリース自慢



写真 8.7.6 素敵なリースが出来ました

8.8 あさはたおさんぼ観察会 \ふゆのみちでロゼットさがし/

開催日：令和6年1月20日（土） 10：00～12：00

場 所：あさはた緑地

内 容：植物の冬越しであるロゼットをさがしながら、体験農園を中心に歩いて、冬の間には植物はすべて枯れるのではなく、冬越しするための工夫をしながら生きていることを観察する。

当日はあいにくの雨模様で参加を取りやめる家族もおり、残念な観察会になりました。ロゼットの絵本を読み聞かせ、ロゼットの葉を数種類摘んできて室内で絵合わせのように観察したり、ロゼットを切り紙で作ることによって、葉っぱの形がいろいろであることを知ってもらう



写真 8.8.1 ロゼット絵本の読み聞かせ



写真 8.8.2 摘んできた葉の形を観察



写真 8.8.3 ロゼットの紙工作



写真 8.8.4 材料を選んで工作開始



写真 8.5.5 私のロゼット



写真 8.5.6 お父さん作りました

8.9 あさはたおさんぼ観察会 \あさはた緑地でおいしい春みつけ！／

開催日：令和6年3月10日（日） 10：00～12：00

場 所：あさはた緑地

内 容：春植物を愛でつつ、パンケーキにして食べて楽しむ

お散歩しながら食べられる春植物を探して摘み取り、ホットプレートを使って野の花パンケーキを作っておいしくいただきます。穏やかな小春日和でお散歩にはちょうど良い天候になりました。あいにくこの日は静岡マラソンの開催と重なり市内の主要幹線道路が通行止めとなり参加できない家族もありました。



写真 8.9.1 会場案内看板



写真 8.9.2 野の花や葉を摘み取り

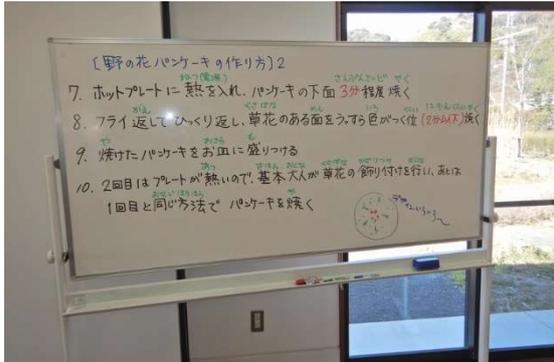


写真 8.9.3 野の花パンケーキのレシピ



写真 8.9.4 手と野草を洗って



写真 8.9.5 摘んできた草花を綺麗に並べる



写真 8.9.6 パンケーキの上にトッピング



写真 8.9.7 美味しくいただきました



写真 8.9.8 缶バッチのお土産

8.10 カヤネズミのくらしを学ぼう！〈全3回〉

本事業は静岡東部生涯学習センターと麻機ウェットランドクラブの共催事業として行われました。

第1回 どんなくらしをしているの？

開催日：令和4年10月16日(日) 10:00~11:30

開催場所：あさはた緑地センターハウス

内容：どんなくらしをしているの？ カヤネズミの気持ちになっくらしを体験しながら学ぼう。講師よるカヤネズミの暮らしぶりや天敵など学び、紙粘土で、カヤネズミも楽しく作りました。



写真 8. 10. 1 カヤネズミのお話を聞く



写真 8. 10. 2 紙粘土でカヤネズミ作り

第2回 カヤネズミの巣を見にいこう！

開催日：令和4年10月23日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地（麻機遊水地1工区）

内容：カヤネズミの巣を探しながらカヤネズミのくらす環境を学ぼう

前回学んだことの振り返りをして、カヤネズミの巣を探しに出発です。カヤ原での注意や、カヤネズミを驚かさないように静かに観察することなどの話をしました。

講師の方の指導でフィールドに出てカヤネズミの観察を行いました。カヤネズミの巣をいくつか見つけてその高さを計って調査票に記入していきました。

第3回 みんなでカヤネズミを守ろう！

開催日：令和5年1月15日（日） 10：00～11：30

開催場所：あさはた緑地センターハウスとカヤ原

内容：カヤネズミの住む環境と保全について学ぼう

現地でカヤネズミのくらしを観察しながらカヤネズミの住む環境を守るために外来種のセイダカアワダチソウを抜き取り作業をしました。麻機納屋の軒先でオギの穂を使ったほうき作りをしました。

事前準備として、工作に使うカヤの穂を集める作業をしていただきました。

日差しがあり風も少ない穏やかな日で一生懸命セイダカアワダチソウを抜き取り、オギの穂でほうき作りも楽しんでくれたようです。終わりに「カヤネズミ博士認定証」とキーホルダーを渡しました。



写真 8. 10. 3 カヤネズミのお母さん紙芝居



写真 8. 10. 5 セイガカアワダチソウ抜き取り



写真 8. 10. 7 取ってきたオギの穂でほうき作り



写真 8. 10. 9 ほうきの出来上がり



写真 8. 10. 11 カヤネズミ博士認定証

写真 8. 10. 4 カヤ原を守ることが大切



写真 8. 10. 6 抜いた草を集める



写真 8. 10. 8 どんなほうきが出来るかな



写真 8. 10. 10 認定証とキーホルダー



写真 8. 10. 12 カヤネズミキーホルダー

8.11 遊水地フェスタに参加

日時：10月21日9:00～15:00

場所：麻機遊水地第3工区

麻機遊水地保全活用推進協議会事務局からの依頼で「遊水地フェスタ」出展しました。ウエットランドクラブは植物のパネル展示を担当し来場者に遊水地の植物や生き物を紹介しました。いつまでも暑い日が続きこの時期には珍しいミズアオイやサクラタデ、ゴキズルなどの現物展示も行いました。麻機の万葉植物の冊子や手作りのお絵描きキーホルダー、しおりなど配布しました。



写真 8.11.1 会場の様子



写真 8.11.2 写真と現物の展示



写真 8.11.3 お絵描きキーホルダー作り



写真 8.11.4 配布したキーホルダーなど

9. 添付資料等

環境学習 カヤネズミのくらしを守ろう (全1回) チラシ

令和5年度 静岡市環境局環境共生課×麻機ウェットランドクラブ×静岡市東部生涯学習センター共催事業

カヤネズミの くらしを守ろう (全1回)



麻機遊水地に生息しているカヤネズミたちを守るにはどうすればいいのか？
カヤネズミの生態や生息地の保全について学び、考えてみましょう。

日時 2月17日(土) 13:30~15:30

会場 あさはた緑地センターハウス 会議室
(葵区赤松2-1/現地集合解散)

対象 ①「カヤネズミのくらしを学ぼう」の受講経験者
② 市民生きもの調査員
③ カヤネズミに関心のある方

定員 20人

会費 無料

講師 畠 佐代子 氏 (全国カヤネズミ・ネットワーク代表)

申込 【対象①、③の方】
静岡市東部生涯学習センターへ申込む
1月21日(日)14:00~、電話受付(申込順)

【対象②の方】
静岡市環境共生課へ申込む
※申込方法の詳細は静岡市環境共生課まで

静岡市東部生涯学習センター 指定管理者 (公財) 静岡市文化振興財団 
〒420-0803 静岡市葵区千代田七丁目8番15号
TEL:054-263-0338 休館日:月曜、祝日

環境学習 カヤネズミのくらしを守ろう（全1回）共催依頼

5 静文東生第 95 号
令和 5 年 12 月 26 日

麻機ウェットランドクラブ 様

静岡市東部生涯学習センター
センター長 白石 良昭

事業の共催について（依頼）

このことについて、下記のとおり共催事業として実施したく、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 趣旨・目的 地域に生息する絶滅危惧種やその生息環境を守る手段について学ぶことで、地域の環境保全活動への関心を高める。
- 2 事業名 カヤネズミのくらしを守ろう（全1回）
- 3 日時 令和6年2月17日（土）13：30～15：30
- 4 会場 あさはた緑地センターハウス 第1会議室・第2会議室
- 5 対象 「カヤネズミのくらしを学ぼう」受講経験者
市民生きもの調査員
カヤネズミに関心のある人 20人
- 6 業務分担 【静岡市環境局環境共生課】
市民生きもの調査員の申込受付、広報協力、講座運営補助等
【麻機ウェットランドクラブ】
広報協力、講座運営補助等
【東部生涯学習センター】
講座運営、講師折衝、会場確保、申込受付、諸経費負担、広報等
- 7 連絡先 静岡市東部生涯学習センター（担当：杉井）TEL：054-263-0338

ナガエツルノゲイトウ対策の専門家が麻機遊水地にやってくる!

! 麻機遊水地で分布拡大中 !

地球上最悪の侵略的植物を知ってほしい!

ナガエツルノゲイトウ

特定外来生物

を学ぶ会

2024年3月2日(土) 9時半~16時

会場：あさはた緑地センターハウス（静岡市葵区赤松2-1）
麻機遊水地第3工区

定員
50名

9時半~12時 講習（あさはた緑地センターハウス）

「守りたい麻機遊水地の生き物」

栗山由佳子氏（麻機ウェットランドクラブ）

「麻機遊水地におけるナガエツルノゲイトウ」

小池祥平氏（昭和設計株式会社）

「ナガエツルノゲイトウは駆除できるのか？（生態と対策）」

丸井英幹氏（エコロジー研究所代表/兵庫・水辺ネットワーク）
（大阪産業大学・武庫川女子大学 非常勤講師）

13~16時 駆除方法の実演（麻機遊水地第3工区）

ナガエツルノゲイトウの駆除方法の実演と体験

※専門家の指導を受けながら、現地で駆除作業を行います!

参加申込はこちら



※QRコードからの申込が難しい場合

あさはた緑地管理事務所に申込希望の旨お伝えください
電話申込もできます! 054-295-5165

※イベント詳細についてのお問い合わせ

080-3386-6602（株式会社自然回復・三根）

見学のみは
申込なしで
自由に
できます

主催 麻機ウェットランドクラブ・株式会社自然回復
共催 静岡市・あさはた緑地管理事務所



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

◆ 午後の駆除作業の実演は以下の場所で行います (見学自由!)



作業は川の中や堤体で行いぬれることもあります。水辺での作業がしやすいよう、準備をお願いします。

必要な持ち物
作業用手袋・長靴
汚れてもいい服装

あると便利なもの
胴長靴・長手袋・着替え



水も汚れも怖くない最重装備

◆ 2023年に実施した駆除作業の様子



静岡市の川で繁殖「地球上最悪の侵略的植物」の駆除作業 「行政、市民、専門家らで協力し駆除方法を確立したい」

2024年3月2日 土曜 18:04



地球上最悪の侵略的植物と呼ばれる特定外来生物の駆除作業が2日、静岡市で行われました。

静岡市葵区の浅瀬川で駆除されたのは、ナガエツルノゲイトウという特定外来生物です。水面にマット状に広がるこの植物は、繁殖率が高く生態系に影響を与えると危惧されています。

2日は静岡市の職員や市民団体のメンバー、企業の社員、学生らおよそ50人が川の中に入りました。専門家から指導を受けながら、水際に生えているナガエツルノゲイトウを手でかき集めたり、網ですくったりして袋に詰めていきました。

昭和設計設計部河川砂防室 小池祥平さん：「行政、市民、企業、民間、専門家がみんなで協力し合いながら、駆除の方法を確立していけたらと思う」

麻機遊水地火入れ作業の開催計画書

<目的>

効果的・効率的な植生管理手法の確立のため、冬季の枯れヨシ焼きを行い、その効果を検証する。

<実施日>

火入れ : 2024年1月28日(日)

予備日 : 2024年2月4日(日)

<参加予定者(案)>

麻機ウェットランドクラブ、バーテル麻機部会、国立環境研究所、静岡土木事務所、静岡市ほか

<当日のスケジュール>

■火入れ : 2024年1月28日(日)

9:00 集合、事前説明等

10:00 着火(エリア1)

10:30 着火(エリア2)

11:00 消火確認

11:30 終了予定

<位置図>

麻機遊水地第3工区内



あさはたおさんぽ観察会 \おさんぽしながら野の花でお弁当を作ろう/

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

\お散歩しながら野の花でお弁当を作ろう/

日 付：4月9日（日）小雨決行 / 中止の場合8時30分にHP掲載

時 間：9時45分～（受付）・10時～11時30分

集 合：あさはた緑地センターハウス前

参加費：子どもも大人も300円（未就園児無料）

定 員：先着20名

持ち物：水筒・タオル・帽子・あれば長靴

長ズボンで汚れてもいい服装

協 賛：谷津山再生協議会

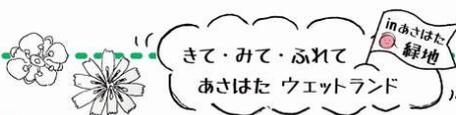


ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！ 田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まってきます。なにが、どんな暮らしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか？



河川基金 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。



共 催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

ハ
ス
・
七
夕
ま
つ
り

今年の夏は、
麻機で自然を愉しむ。

7月1日(sat)～9日(sun)

9:00-17:00 入場無料・雨天開催

[場所] あさはた緑地センターハウス

★9日(sun) 限定! 「自然あそびワークショップ」

期間中毎日開催コンテンツ

- ・七夕飾り～短冊に願いごとを書こう～
- ・小さな駄菓子屋さん～縁日 ver ～
- ・#わたしのハスフォト(ハス写真展示)
- ・みんなのハス畑(ハスの塗り絵と風鈴の展示)
- ・麻機の自然と歴史クイズコーナー
- ・七夕豪雨の展示～忘れてはいけないあの日の記憶～

9日(sun) 限定! 「自然あそびワークショップ」

- ・ハススタンプでしおりを作ろう
- ・ハススタンプで私だけのミニ巾着
- ・なりきり織姫彦星コーナー
- ・おはなしはらっぱさんの読み聞かせ(13:30～参加無料)

〈事前予約制ワークショップ〉

- ・オニバス&ハスクラフト
- ・ハスの葉染めワークショップ～てぬぐい作り～
- ・竹工作ワークショップ(竹ぼっくりと竹貯金箱)

ワークショップの詳細はこちら➡

お申込みは 054-295-5165 まで☎

浴衣
来場
特典

プチお菓子
プレゼント

※無くなり次第終了※



主催 あさはた緑地管理事務所

協力 麻機ウェットランドクラブ
麻機村塾 西奈おはなしはらっぱ

お問合せ詳細は、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日 9:00～17:00

054-295-5165



ワークショップのお申込みはお電話で！

054-295-5165 (毎日9時-17時)



期間中毎日開催コンテンツ

- ・七夕飾り～短冊に願いごとを書こう～
- ・小さな駄菓子屋さん～縁日 ver～
- ・#わたしのハスフォト（ハス写真展示）
- ・みんなのハス畑（ハスの塗り絵と風鈴の展示）
- ・麻機の自然と歴史クイズコーナー
- ・七夕豪雨の展示～忘れてはいけないあの日の記憶～

9日(日)限定!「自然あそびワークショップ」

- ・ハススタンプでしおりを作ろう（無料）
- ・ハススタンプで私だけのミニ巾着（200円）
- ・なりきり織姫彦星コーナー（無料）
- ・おはなしはらっぱさんの読み聞かせ（13:30～会議室畳スペース / 無料）



オニバス&ハスクラフト

日時：4/9(日)①10:00～10:45 ②11:00～11:45
※①と②どちらの回の申込かお電話でお伝え下さい。

場所：あさはた緑地センターハウス会議室

料金：1人100円

定員：16名（未就学児も参加OK♪）

持物：手ぶらでお越しください！



麻機の昔話にも登場する絶滅危惧種の「オニバス」。そんなオニバスの楽しいお話を聞いた後に、ハスの花をペーパークラフトで制作します♡のりやハサミを使った、お子さんでも楽しめるワークショップです。

ハスの葉染めワークショップ

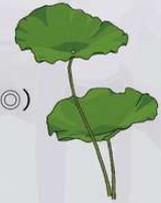
日時：4/9(日)13:30～15:00

場所：あさはた緑地 炊事棟

料金：1人500円

定員：12名（中学生から参加可能です◎）

持物：エプロン又は汚れても良い服装
飲み物など



ハスの葉で絞り染めをして、オリジナル手ぬぐいを作ります。どんな模様になるのかは、お楽しみ！対象は、中学生以上となります。大人の皆さん♪ぜひ、ご友人同士やご家族で参加してくださいね！

竹ぽっくりワークショップ

日時：4/9(日)①9:30～10:15 ②11:00～11:45
※①と②どちらの回の申込かお電話でお伝え下さい。

場所：あさはた緑地 農業体験棟

料金：1人300円（保険代含む）

定員：各回4組16名

持物：汚れて良い服装・運動靴



麻機村塾さんと竹工作ワークショップ♪作って乗って楽しい竹ぽっくりを作ります！小学生以下のお子さんは、ノコを使って竹を切るため、保護者同伴でお願いします。一緒に楽しく工作をしましょう。

竹貯金箱ワークショップ

日時：4/9(日)①10:15～11:00 ②11:45～12:30
※①と②どちらの回の申込かお電話でお伝え下さい。

場所：あさはた緑地 農業体験棟

料金：1人300円（保険代含む）

定員：各回4組16名

持物：汚れて良い服装・運動靴



麻機村塾さんと竹工作ワークショップ♪自分だけのオリジナル竹製貯金箱を作ります！小学生以下のお子さんは、ノコを使って竹を切るため、保護者同伴でお願いします。一緒に楽しく工作をしましょう。



主催 あさはた緑地管理事務所

協力 麻機ウェットランドクラブ

麻機村塾 西奈おはなしはらっぱ

お問合せ詳細は、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日 9:00～17:00

054-295-5165



あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・ハスを見て遊んで楽しもう

令和5年7月16日(日)(小雨決行 / 悪天中止)



時間：8時半～10時(8時15分～受付)
 ※中止の際は、7時30分ごろHPに掲載
 集合：あさはた緑地第1駐車場トイレ前
 場所：ハス池・あさはた緑地東側対面
 参加費：子供も大人も300円(未就園児無料)
 定員：先着20名(小学生以下保護者同伴)
 持ち物：水筒・タオル・帽子・あれば長靴
 長袖長ズボンで汚れてもよい服装

『ハス池をお散歩♪ハスのお話を聞いたり、さわったり、シャボン玉もするよ!』

「きて・みて・ふれて
あさはた ウェットランド」

inあさはた 緑地

ねえ知ってる?こんなこと!

- 麻機遊水地に現れたミズアオイ群落は、世界一の規模だったってこと!
- 遊水地にコウノトリが来たことがあるってこと!
- 江戸時代、オニバスの種子で富士山にお参りする人の数珠玉を作っていたってこと!
- 日本一小さなカヤネズミがカヤ原で暮らしてるってこと!

ウェットランドってなあに?
ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ! 田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗いてみませんか?

黄色の旗が目印だよ

麻機 ウェットランドクラブ

↓お申込み↓
下記フォーム又はお電話にてお申込み下さい。

河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



秋の草花観察会

～秋の麻機遊水地を楽しもう！～

「あさはた緑地」の“体験農園”や“ふれあいの水辺”には、珍しい湿生植物がたくさん生えています。そこには虫や鳥たちも集まってきて“いのちの賑わい”が感じられる楽しい場所になっています。そんな中に咲くミズアオイや、面白い形の植物を観察しながら初秋のひと時をのんびり過ごしてみませんか。

当日参加もOK！出入り自由ののんびりした、気軽な観察会です。親子で生きもの探しをしたい人など、どなたでも大歓迎。

自然観察指導員が一緒します。



日時：令和 5年9月23日（土） 10:00～11:30頃

※小雨決行

場所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）※センターハウス前集合
最寄りバス停『大浜麻機線』麻機小学校前

対象：どなたでも 20名 参加費無料

持ち物：飲み物・帽子 服装は長袖、長ズボン
※長靴があるとより楽しめます！

問合せ・申込み：あさはた緑地管理事務所

電話：054-295-5165

Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

主催：麻機ウェットランドクラブ <麻機遊水地保全活用推進協議会>

協力：あさはた緑地管理事務所



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



日 時： 令和5年 11月5日（日） 10：00～11：30
（雨天中止）

集合場所：あさはた緑地（葵区赤松2-1）センターハウス前 （裏面案内図）

対 象：どなたでも （定員）20名

参 加 費：無料

持 ち 物：飲み物、あれば双眼鏡

服 装：長袖、長ズボン、長靴、

申 込 先：あさはた緑地管理事務所（裏面申込書）

電話：054-295-5165 Fax：054-295-5166

受付時間：9:30～17:00（申込順）

主催：麻機ウエットランドクラブ＜麻機遊水地保全活用推進協議会＞

協力：（社）グリーンパークあさはた



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

\ふゆのみちでリースづくり/

日 付：12月3日（日）小雨決行 / 中止の場合8時30分にHP掲載
時 間：10時～12時※約2キロ歩いてリースを作ります！
集 合：てんかん病院駐車場入口南側の遊水地（当日案内人が立ちます）

地図はHPにてご確認ください。

参加費：子供も大人も300円（未就園児無料）

定 員：先着20名（小学生以下保護者同伴）

持ち物：作品持ち帰り用袋（紙袋がおすすめ）・剪定ばさみ（お持ちの方）
水筒・タオル・帽子・軍手・長ズボンで汚れてもよい服装



ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！
田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが
集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗
いてみませんか？



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



共
催

麻機ウェットランドクラブ

〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1

あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは・・・

\ふゆのみちでロゼットさがし/

日 付：1月20日（土）

荒天中止 / 中止の場合8時30分にHP掲載

時 間：10時～12時

集 合：あさはた緑地センターハウス会議室

場 所：あさはた緑地

参加費：子供も大人も300円（未就園児無料）

定 員：先着20名（小学生以下保護者同伴）

持ち物：水筒、タオル、帽子、マスク、長ズボンで汚れても良い服装



ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！
田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが
集まってきます。なにが、どんなくらしをしているか、一緒に足元の世界を覗
いてみませんか？

 **河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。**



↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



共
催

麻機ウェットランドクラブ
〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1
あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

あさはたおさんぽ観察会

今回のテーマは...

\あさはた緑地でおいしい春みつけ！／

- 時間** 10時～12時(受付は9時45分～)
- 場所** あさはた緑地緑地センターハウス会議室
- 参加費** 子ども大人も300円(未就園児無料)
- 定員** 先着20名(小学生以下保護者同伴)
- 持ち物** 水筒、タオル、お皿、エプロン、マスク、三角巾
フォークや箸などパンケーキを食べられるもの
- 服装** 長ズボンで汚れても良い格好、帽子
長靴(ぬかるみもあるので長靴だと一層楽しめます)
※ 荒天中止 / 中止の場合8時30分にHP掲載

3/10(日)



ウェットランドってなあに？

ウェットランドとは「湿地」のことを言います。つまり、長靴で歩くところ！
田んぼ・小川・遊水地・水たまり…。そこには愉快で不思議な生きものたちが
集まってきます。なにが、どんな暮らしをしているか、一緒に足元の世界を覗
いてみませんか？

 **河川基金** 公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。



「きて・みて・ふれて
あさはた ウェットランド」
あさはた緑地

↓お申込み↓
下記フォーム又は
お電話にて
お申込み下さい。



黄色い旗が
目印だよ



共
催

麻機ウェットランドクラブ
〒420-0963 静岡市葵区赤松2番地の1
あさはた緑地管理事務所

お問合せは、あさはた緑地管理事務所へ

受付時間 毎日9:00～17:00

054-295-5165

2023年 第8回 ASAHATA FESTA

麻機遊水地 フェスタ



10/21(土) 9:00 - 15:00

※雨天時は、中止になります。

【場所】麻機遊水地 第3工区

イベント会場・プログラム内容詳細は裏面へ▶

入場
無料

※一部有料

麻機遊水地って どんなところ？

治水機能と公園機能を有する遊水地（雨水を溜めて洪水を防ぐ施設）です。

生きものの貴重な生育・生息の場として注目されています。



開催に関する
最新情報はこちら



昭和設計株式会社事務局内
麻機遊水地フェスタ実行委員会

☎ 054-252-1854

※お問合せ時間：8:30～17:00(担当：小池)

当日
問合せ 静岡市コールセンター
「市役所いつでも電話サービス」 ☎ 054-200-4894



【主催】麻機遊水地フェスタ実行委員会
(麻機遊水地保全活用推進協議会)

【共催】静岡県静岡土木事務所、静岡市



体験できるプログラムが盛りだくさん!

PROGRAM & MAP

200m
※縮尺は目安です。

【飲食物・物販の出店】

- 焼き菓子 (愛誠会)
- お弁当・お惣菜 (松のや)
- 遊水地産の野菜 (ペーテル麻機部会)
- 地元の野菜・流木 (麻機学区自治会)
- お手製味噌 (麻機学区自治会)

- 植物のパネル展示
麻機ウェットランドクラブ
- 遊水地の魚類展示
東海大学水棲環境研究会
- 麻機の鳥の写真展
- ドローン (VR 飛行体験)
(株) アースシフト
- カヌー体験(※体験は抽選です)
服部エンジニア(株)、しずおか流域ネットワーク
(岡古川組、協同組合静岡流通センター)
- 柴揚げ漁(柴入れ)の実演
協同組合静岡流通センター、
東海大学水棲環境研究会
- 高所作業車体験
文化シャッターサービス
- はたらく重機と
ふれあおう
(株) アースシフト
- 青空コンサート
静岡高等学校吹奏楽団
麻機太鼓
- 治水パネル展示
静岡県静岡土木事務所
- 麻機の歴史文化紹介
麻機村塾
- 運動診断ブース
静岡市ふれあい健康増進館ゆらら
- ネイチャークラフト
静岡県環境アセスメント協会
- あさはた緑地公園の活動紹介
あさはた緑地公園センターハウス
- 帽子のクラフト体験
麻機学区自治会

※天候等により、プログラムの内容は変更となることがあります。あらかじめご了承ください。

様式 1 2

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6113-007	多様性のある湿地環境の再生と子どもたちの自然体験活動の推進	麻機ウェットランドクラブ 代表 石上恭平
	主な実施箇所 あさはた緑地センターハウス会議室・麻機遊水地第3工区	
助成事業の主な実施箇所		
	河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景